

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人
名張市社会福祉協議会

目 次

I	【 法人本部拠点 】	
ア.	法人運営事業	1
	1. 経営管理基盤の整備・強化	
	2. 職員定着に向けた取組みの徹底	
	3. 感染症対策・災害対策の強化	
イ.	地域福祉増進事業	9
	1. 地域福祉活動計画の推進	
	2. 暮らし応援ネットワーク事業	
	3. 生活支援体制整備事業	
	4. ボランティアセンター事業	
	5. 福祉まちづくりセンター事業	
	6. 福祉団体等当事者活動支援	
ウ.	なばり暮らしあんしんセンター	26
	1. 福祉サービス利用援助事業	
	2. 成年後見事業	
	3. 生活困窮者自立支援事業	
	4. 生活福祉資金等貸付事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	
	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	35
	1. 中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケアの推進	
	2. 健全経営体制の基盤整備	
	3. 業務効率の向上と働きやすい環境づくり	
III	【 昭和保育園拠点 】	44
	1. 事業の概要	
	2. 運営体制の強化	
	3. 特別保育事業	
	4. マイ保育ステーションの取組み	
	5. 保育の質の向上と人材育成	
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	49

※ 【拠点】は、会計の区分における拠点区分に該当します。

I 【法人本部拠点】（総務課・地域福祉課）

ア. 法人運営事業

1. 経営管理基盤の整備・強化

1. 法令遵守した会務運営

①理事会の適正実施

会長等の選任、事業計画・予算、事業報告・決算についての承認、規程の一部改正、組織構成会員の入会及び評議員候補者の推薦を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月3日(金)	1) 経理規程の一部改正 2) 令和3年度 事業報告及び附属明細書の承認 3) 令和3年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認 4) 会長の報酬等に関する規程の一部改正 5) 組織構成会員の入会 6) 令和3年度 地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定 7) 令和4年度 地域福祉活動助成事業にかかる審査 8) 役員候補者の決定 9) 令和4年度 定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定
第2回 6月21日(火)	1) 会長の選任 2) 副会長の選任 3) 常務理事の選任 4) 顧問の委嘱
第3回 8月25日(木)	1) 給与規程の一部改正 2) 非正規職員給与規程の一部改正
第4回 12月8日(木)	1) 評議員候補者の推薦 2) 役員候補者の決定 3) 補正予算（第1号） 4) 第2回評議員会の招集
第5回 1月12日(木)	1) 副会長の選任 2) 役員候補者の決定 3) 組織構成会員の入会 4) 第3回評議員会の招集
第6回 1月20日(金)	1) 常務理事の選任
第7回 3月16日(木)	1) 補正予算（第2号） 2) 評議員選任・解任委員の選任 3) 懲戒委員会規程の一部改正 4) 令和5年度 事業計画 5) 令和5年度 予算 6) 第4回評議員会の招集

②評議員会の適正実施

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、役員を選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 6月21日(火)	1) 令和3年度 事業報告の承認 2) 令和3年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認 3) 会長の報酬等に関する規程の一部改正 4) 役員を選任
第2回 12月20日(火)	1) 役員を選任 2) 補正予算（第1号）
第3回 1月20日(金)	1) 役員を選任
第4回 3月27日(月)	1) 補正予算（第2号） 2) 令和5年度 事業計画 3) 令和5年度 予算

③評議員選任・解任委員会の開催

評議員選出母体における役員改選に伴う評議員の交代にあたり、候補者から後任の評議員を選任しました。

開催日	議案
第1回 12月12日(月)	・評議員の選任について

④監事監査の適正実施

事業運営と財務管理に係る監事監査を年2回実施しました。

実施日	議題
決算監査 5月17日(火)	1) 令和3年度 事業報告 2) 令和3年度 決算報告 3) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェック
中間監査 11月25日(金)	1) 令和4年度上半期の事業報告 2) 令和4年度上半期の決算報告 3) 理事・監事、評議員等の出席状況 4) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェック

⑤外部監査

実施期間	監査名称	対象事業等	監査人
8月10日 ※書面	社会福祉施設指導監査	昭和保育園	三重県

⑥組織構成会員種別会

第3・4・6種の会員を対象に種別会を開催し、役員改選に伴う理事候補者の選出及び意見交換を行いました。

開催日	種別	参加団体数	会員数
2月13日(月)	第3種	5法人	12
2月18日(土)	第4種/第6種	8法人・団体 / 11法人・団体	11 / 26

⑦各種規則・規程等の適正管理

国等の施策・制度及び社会潮流に即した各種規程等の改正と適正管理を行いました。

制定	一部改正	廃止
なし	8規程・1細則・3要綱・5内規	なし

2. 経営管理体制の改善

①本部機能の確立

法人の健全な経営基盤の確立を図るため、法人本部会議を年8回開催しました。

(法人本部会議)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> 経営会議の協議事項について 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の協議事項について 法人の重点課題の取組みについて 昇格昇任について 3部会議議案について 支援調整会議の協議事項について 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の職員説明会について BCP(感染症対策)について 特別休暇について 次年度予算(人件費)について 理事会、評議員会の開催について 非正規職員の時給単価の見直しについて

②会計管理・財務管理の徹底

顧問税理士指導のもと、関係規程に則した適切な税務及び財務管理を行いました。

令和5年10月から施行されるインボイス制度の準備として、事業者登録番号を取得し、本会取引先に当会の番号を通知するとともに意向調査を行いました。

登録済	登録予定	検討中	免税・対象外	未回答	合計
174	11	9	8	31	233

3. 組織マネジメント体制の強化

法人の健全な経営基盤の確立、業務の円滑な運営を図るため、経営会議を年28回、運営連絡会議を年10回開催し、法人の経営・運営に係る協議、検討を進めました。

(経営会議)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> 経営会議及び運営連絡会議の構成員について 経営会議のあり方について 職員衛生委員会及び心の健康づくり計画について 職員衛生委員会の構成員について 会長交代に関する諸手続きについて 	<ul style="list-style-type: none"> 第4次 名張市地域福祉活動計画の見直しについて 処遇改善手当の取り扱いについて 法人重点課題の対応について 通所介護事業所の営業再開について 最低賃金の改定について 水道光熱費について

<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別休暇に係る取り扱いについて ・ 当初・補正予算について ・ 事業計画・事業報告について ・ 決算監査・中間監査について ・ 理事会及び評議員会について ・ 善意銀行運営委員会について ・ 名張市補助金、委託金の内示及び対応について ・ 局長不在による今後の対応について ・ 組織構成会員 種別会の開催について ・ 法人組織体制について ・ 新型コロナウイルス感染症に係る対応について ・ 名張市社会福祉大会について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人諸規程等の改正について ・ 職員採用試験について ・ 令和4年度6月・12月賞与について ・ 令和5年1月定期昇給について ・ 名張市総合福祉センター利用料金（改定案）について ・ 特別条項付き協定の協定違反事例について ・ 今後の3部会議（コロナ・衛生委員会・運営連絡会議）の運営について ・ メンタル不調職員への対応について ・ 復職職員の対応について ・ 令和5年度の主な業務内容について
--	--

(運営連絡会議)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度 経営会議及び運営連絡会議の構成員について ・ 事業計画書について ・ 法人重点課題の対応について ・ 法人組織体制について ・ 新型コロナウイルス感染症に係る対応について（3月13日以降のマスク着用の考え方） ・ 法人重点課題の進捗状況及び取組み方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最低賃金について ・ 社協の水道・光熱費について ・ 消防訓練・垂直避難訓練について ・ 介護労働安定センターによる「人材育成についてのアンケート」実施について ・ 適正な労働時間の管理について ・ 防火管理委員会の開催及び消防訓練実施、消防計画の変更について ・ 各課・園からの提案・報告（進捗状況等）について

4. 業務効率・生産性の向上

給与明細及び年末調整等の電子化について、昨年度の総務課職員の試行実施を踏まえ、8月から正規職員を、翌9月から臨時職員を対象に実施しました。

5. 施設設備・備品管理

老朽化した施設を維持管理するため、改修工事を行いました。

ア. 昭和保育園

幼児用大便器改修工事、園庭遊具安全点検 他

イ. 総合福祉センターふれあい

駐車場コンクリートスロープ工事、廊下照明器具(ベースライト)LED更新工事 他

ウ. 通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）事業所

機械浴リミットスイッチ修繕 他

エ. 老人福祉センター「ふれあい」

ろ過装置配管溶接工事

6. 情報管理と広報活動

計算書類等を社協だより「ほほえみ」やホームページに掲載し、積極的に情報を公開しました。

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

ア. 名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第52回名張市社会福祉大会を10月29日(土)、名張市武道交流館いきいきにおいて開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながらも、前年度より収容人数を緩和し、福祉功労者の顕彰のみを行いました。

イ. ホームページを活用した情報公開と発信

ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 13,572件

ウ. 社協だより「ほほえみ」の発行

伊賀タウン情報ユーへの折込みにて社協だより「ほほえみ」を年6回(奇数月)発行し、より多くの家庭へ届くように、積極的な情報発信を行いました。

2. 職員定着に向けた取組みの徹底

1. 人材定着に向けた取組み推進

①人材確保に向けた取組み

ホームページ、社協だより「ほほえみ」への掲載等により職員の求人を実施し、職員確保に努めました。

所属	採用(正規職員)	採用(非正規職員)
総務課	管理職(1名) 事務員(1名)	
地域福祉課		業務スタッフ(2名) 事務スタッフ(4名) 生活支援員(4名)
介護支援課		介護員(4名)
昭和保育園		調理員(1名)

②人材育成に向けた取組み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、対面及びWebにて研修を行いました。(全体研修)

実施日	研修名	参加人数
6月28日(火)	メンタルヘルスケア(セルフケア) Web研修	32名

(階層別研修)

実施日	研修名	参加人数
4月1日(金)	新任職員研修	3名
7月1日(金)	新任職員研修	2名

10月17日(月)	階層別研修(1~2級) Web研修	11名
1月20日(金)	階層別研修(3~6級) Web研修	18名

(内部研修)

実施日	研修名	参加人数
6月9日(木)	マイナンバー研修	9名

③人事考課・目標管理制度の適正化に向けた取組み

考課者研修を実施し、制度の適正運営に向けて、考課者の資質向上を図りました。

実施日	研修名	参加人数
7月11日(月)	新考課者研修 I Web研修	6名
11月4日(金)	新考課者研修 II	5名

2. 労務管理の適正実施

①働き方改革・同一労働同一賃金に基づく取組み

年次有給休暇取得義務化により年10日以上有給休暇を付与した職員に対し、付与した日から1年以内に5日の有給休暇を取得するよう周知徹底し、全員取得させました。

②安全衛生管理

職員衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、さまざまな課題について協議しました。

また、安全衛生管理規程に則り配置した安全推進者が「職場の安全推進チェックシート」による職場点検を行うとともに、安全推進部会において働きやすい職場づくりを推進するための協議・検討を行いました。

ア. 職員衛生委員会(12回開催)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> 職員衛生委員会の構成について 安全推進部会の報告について 安全衛生管理計画及び実施結果報告書について 心の健康づくり計画について メンタル不調職員への対応について 法人重点課題の対応(安全衛生管理、メンタルヘルス対応力の強化)について リスクマネジメント委員会について ストレスチェックについて 両立支援職員の対応について 36協定(特別条項)違反の発生報告について 各事業所の衛生管理等について(産業医による職場巡視) 	<ul style="list-style-type: none"> 職場の安全推進チェックシートの見直しについて 年次有給休暇取得状況について 復職職員への対応報告について 一般事業主行動計画の進捗状況について 労災事象の報告 職場の安全推進チェックシートの見直しについて 時間外労働及び各部署における変形労働及び時間外について アルコールチェッカーの使用について 福利厚生に関する協議事項について 月別ノー残業デーの実施状況について 月別時間外勤務の状況について

イ. 安全推進部会(5回開催)

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員衛生委員会での協議報告 ・ 部会長・副部会長の選出について ・ 安全推進部会メンバーについて ・ 職場の安全推進チェックシートについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の福利厚生について ・ 安全推進者の選定について ・ 両立支援について ・ 働きやすい職場環境づくり、安心して働ける環境づくりについて

③メンタルヘルス対応力の強化

メンタルヘルス対応体制の整理については、法人の重点課題として引き続いて検討協議を行うこととしています。

④仕事と子育ての両立支援と女性が働きやすい環境づくりの推進

次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画に基づき、「残業時間の削減に向けた取組み」、「年次有給休暇の取得率UP、正規職員の夏季休暇取得率UP」、「管理職に占める女性の割合を25%以上とする」の目標に対してそれぞれ取組内容を定め実施しました。

⑤アルコールチェックの義務化への対応

道路交通法施行規則の改正に伴い、令和4年4月から目視による酒気帯びの確認を開始しました。併せてアルコール検知器を導入し、各事業所に適したチェック方法により安全運転のための取組みをすすめました。

3. コロナ禍における多様な働き方に対応できる環境づくりの推進

新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に伴い、引き続き在宅勤務に係る内規に基づき在宅勤務を実施し、新型コロナウイルス感染症に係る小学校等休業に伴う特例休暇の内規及び新型コロナウイルスワクチン接種に伴う特例休暇を制定し、職員が安心して働ける職場環境づくりに取り組みました。

法人内で開催する各種会議や研修については、Web会議、Web研修にて開催しました。

3. 感染症対策・災害対策の強化

1. 新型コロナウイルス感染症対策の推進

①新型コロナウイルス感染症対策委員会等の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に備えた対策を講ずるとともに、本会の職員及び利用者等から感染者、濃厚接触者等が発生した際の対応を行うため、新型コロナウイルス感染症対策本部、対策委員会を設置し、その取組みを検討・協議しました。

ア. 新型コロナウイルス感染症対策委員会（8回開催）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度 感染症対策本部会議及び対策委員会組織メンバーについて ・ 新型コロナウイルス感染症関係物品の管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症発生時におけるBCP（事業継続計画）について ・ 本会における新型コロナウイルス感染症感染対策について

<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策業務の重点化について ・ 新型コロナウイルス感染症 ヒアリング（チェック）シートについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ対応について ・ 法人内における感染状況について
--	--

イ. 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（7回開催）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度 感染症対策本部会議及び対策委員会組織メンバーについて ・ 新型コロナウイルス感染症関係物品の管理について ・ 昭和保育園の感染状況と対応について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症発生時におけるBCP（事業継続計画）について ・ 陽性者の療養期間、濃厚接触者の待機期間の再確認について

2. 自然災害対策の推進

福祉避難所について、名張市の担当部署に避難所運営にかかる協定の協議を要請しました。

消防訓練については、コロナ禍において、センター内の消防設備の配置場所や作動確認を職員に周知させる目的の訓練を1回、大規模地震等を想定した訓練を1回実施しました。

自然災害発生時の事業継続計画（BCP）は、自然災害発生時の総合福祉センターにおけるライフラインや備蓄品等の状況と課題を法人内で情報共有、確認を行いました。

3. リスクマネジメント対策の強化

リスクマネジメント委員会については、本年度開催しませんでした。

イ. 地域福祉増進事業

1. 地域福祉活動計画の推進

1. 第4次名張市地域福祉活動計画の評価、見直し

第4次名張市地域福祉活動計画の3年目（中間年）となることに加え、重層的支援体制整備事業の推進や新型コロナウイルス感染症の拡大により生じたさまざまな生活課題に対応するために、評価、見直しを進めました。

また、第5次名張市地域福祉活動計画にむけた課題整理の機会となるよう、名張市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

名張市地域福祉活動計画推進委員会の開催	3月13日(月)	推進委員 4名
---------------------	----------	---------

2. 地域福祉課推進体制の強化

令和5年1月より地域福祉系の運営体制の強化及び福祉サービスの向上を図ることを目的に、地域福祉課専門課長を配置するとともに2月に人事異動を行い、組織の機能を最大限に活かすため推進体制の強化を行いました。

2. 暮らし応援ネットワーク事業

1. 地域担当職員の配置

地域福祉係地域担当職員3名が15地域を担当し、地域づくり組織や民生委員児童委員協議会の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、地域福祉の課題解決に向けた取組を関係機関とも連携し支援しました。

①地域の会議や事業等への参加状況（地域づくり組織の福祉部会等を除く）

参画支援	会議・事業等
15地域	159回

②民生委員児童委員協議会への参加状況

参画支援	民生委員児童委員協議会
8協議会	72回

③サロン支援状況

参画支援	ふれあい・いきいきサロン
13地域	58件

2. 身近な福祉課題の解決に向けた取組み

令和3年度に引き続き、地域福祉推進懇談会における地域課題について、地域づくり協議会等と解決に向けて取り組み支援をおこないました。

また、各地域づくり組織の福祉部会等における課題解決については、各部会等へ参画し、課題を把握した上で、情報収集や資料提供、助言をすることにより、解決に向けた取組みができました。

①取組地域（2地区）

対象地域	支援内容
箕曲地域 《テーマ》 「移動困難者が増えており、地域で何かできることはないか」	有償のボランティアが地域住民の日常生活を支援する事業（生活支援事業）が必要かのアンケートを実施するにあたり、必要となる情報提供を行いました。
名張地域 《テーマ》 「緊急時災害時における要援護者情報の取り扱いと地域でどのように支援活用していくか」	地域の民生委員、区長、まちづくり協議会会長で話し合いをする機会をつくり、区長幹事、民生委員と共に、各区で要援護者情報をどのように取り扱うのか考える会議に参加しました。結果、1地区で要援護者情報を活用して個別避難計画を作成することに繋がりました。

②地域福祉部会等への参画支援

参画支援	会議・事業等
13地域	94回

③子どもの居場所づくり支援

つつじが丘地域 集会所開放プロジェクト	地域担当職員がプロジェクト会議（1地域）へ参加し、必要な情報提供と意見整理をすすめました。
------------------------	---

3. 身近な地域で支えあう暮らし支援の取組み

救急医療情報キットについては、民生委員児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて、記入様式に適切な情報を入れているのか取り扱いに関する声掛けを行ってもらい、漏れない見守りの仕組みづくりをすすめました。

救急医療情報キット

令和4年度申込	356世帯 ・ 553名
利用者総数	3,755世帯 ・ 5,431名
救急隊活用件数	39件 期間：令和4年1月1日～令和4年12月31日

4. 課題解決に向けた各種連絡会等の取組み

①配食ボランティアグループ連絡会

配食ボランティアグループ連絡会の開催を通じて、配食活動を継続するための工夫や悩みを話し合う機会となりました。物価高騰による食材費確保に向け名張市と連携し、物価高騰支援金の交付（8月）や生活応援米申請（1・2・3月）に関する情報提供、手続きや申請協力を行いました。

また、本年度は初めて伊賀市と名張市広域で配食ボランティア活動団体の交流会をしました。

連絡会 第1回	日 時：令和4年7月1日（金）13:30～15:00 場 所：名張市総合福祉センターふれあい 102会議室 参加状況：配食活動7団体14名 内 容：連絡 コロナ禍原油価格・物価高騰に対する食材料支援
------------	---

	<p>情報交換会 コロナ禍での配食活動について (C a r d 方式)</p>
連絡会 第2回	<p>日 時：令和5年2月9日（木）10:00～11:30 場 所：名張市総合福祉センターふれあい 101会議室 参加状況：配食活動8団体20名 内 容：連絡 地域福祉活動助成事業 報告/ 申請 /令和4年度配食見込み数 コロナ禍原油価格・物価高騰に対する食材料支援 報告 生活応援米 研修会 ① テーマ「コープみえ夕食宅配の見守り体制について」 ② テーマ「名張市とコープみえの地域協定について」 意見交換会</p>
交流会	<p>【伊賀×名張 食事サービス・配食ボランティア交流会】 日 時：令和4年10月24日（月）14:00～16:00 場 所：阿山保健福祉センター 参加状況：名張市20名（6地域）、伊賀市18名 内 容：活動発表 名張市3団体、伊賀市3団体 意見交換 テーマ「活動者同士の現状と工夫について」</p>

②ふれあい・いきいきサロン交流会

ふれあい・いきいきサロン交流会の開催を通じて、現状とコロナ禍でどのように再開に向けて活動を工夫しているのか、話し合う機会となりました。

交流会	<p>【ふれあい・いきいきサロン交流会】 日 時：令和5年3月1日（水）13:30～ 場 所：リバーナホール 内 容：コミュニティコーピング体験会、グループワーク 参加/31活動団体45名</p>
-----	--

③地域ささえあい活動連絡会

地域ささえあい活動連絡会の開催を通じて、活動を継続するための工夫を話し合う機会となりました。

連絡会	<p>日 時：令和4年7月12日（火）10:00～11:30 場 所：名張市総合福祉センターふれあい ふれあいホール 参加状況：地域ささえあい活動11団体19名 内 容：情報交換会 ・活動で発生した草木等のごみ搬入申請手続き ・コーディネーター制度の現状 ・人材確保について 等</p>
-----	---

④福祉協力校連絡会

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催しました。

令和4年度 福祉協力校数	21校
--------------	-----

開催内容	令和4年度 第1回名張市福祉協力校連絡会 日時：令和4年6月23日（木）15：30～16：30 場所：総合福祉センターふれあい 内容 ・名張市福祉協力校連絡会について ・各学校での福祉教育の実施計画について ・令和4年度 名張市社会福祉協議会事業計画について
	令和4年度 第2回名張市福祉協力校連絡会 日時：令和5年3月13日（月）15：30～16：30 内容 ・各学校での福祉教育の活動について ・令和4年度 名張市社会福祉協議会事業報告について

5. 名張市社会福祉法人連絡会

地域における公益的な取組みが社会福祉法人の責務として位置づけられていることを受け、地域課題の改善・解決を目指す地域福祉の担い手として、法人間の連携・協働による公益活動を推進しました。

①会員法人間における情報交換と連携の強化

通常総会 1回	5月19日
全体会 3回	7月20日・11月25日・2月13日
役員会 9回	4月21日・5月12日・6月22日・7月14日・8月25日・10月25日・12月26日・1月23日・3月13日

ア. 職員研修会の開催（会場とWEBを使用したハイブリッド開催）

職員の職場における連携強化と資質向上を目的に、職員研修会を開催しました。

日時：10月20日（木）

場所：各事業所、総合福祉センターふれあい101会議室

内容：「一人ひとりが尊重される地域社会をめざして

～自分の事、となりの人のこと、考えてみませんか」

津市人権・同和教育研究協議会 鈴木 圭子 氏

参加者：37回線、約100名

イ. 部会の設立と運営

・広報部会

人材確保のための情報と、法人連絡会の活動を発信するため、動画制作プロジェクトチームを引き続き広報部会として設立しました。

・子ども部会

市内の子どもたちが安全で健やかに育つ地域社会に向けて、児童部門を持つ法人が各々の現場の課題を共有し、解決に向けてともに考えていくため、子ども部会を設立しました。

②会員法人間の連携協力による諸課題の解決

ア. 人材確保・育成の取り組み

- ・ホームページを利用した人材確保

- ・市内中学校へ福祉のしごとに対する出前講座「働く人から学ぶ会」の開催

2月16日(木)	名張市立南中学校	ゲストティーチャーとして保育士を派遣
3月9日(木)	名張市立名張中学校	

イ. 地域公益活動の実施

- ・法人活用ガイドによる講師派遣、周知啓発

3. 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを中心に、地域の多様な福祉課題に対し、地域ささえあい活動を展開・実施する地域づくり組織、ボランティア、行政等と協力し、生活支援体制の整備に取り組みました。

1. 生活支援コーディネーターの配置による地域担当制の強化

- ① 全市的な生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する取組

地域ささえあい活動で、よりきめ細かな情報交換や活動者同士で意見交換の機会をつくるため、活動体制に沿って小グループを編成し、専門部会を開催しました。

また、共通課題のある活動団体に対して、意見交換会の提案及び調整を行いました。

地域ささえあい活動 専門部会	<p>内 容： グループワーク 地域ささえあい活動の“今（現状）”と “これから（未来）”について</p> <p>日 時： Aグループ 生活支援 9月27日（火）14：00～ 名張市防災センター Cグループ 生活支援・外出支援（軽自動車） 9月26日（月）13：30～ 武道交流館いきいき</p> <p>参加状況：地域ささえあい活動11団体24名 A 参加/4団体10名、C 参加/4団体8名</p>
地域ささえあい活動 意見交換会	<p>1) 「農村地域でささえあい活動をどのように展開しているか」 日 時：令和5年2月12日（日）10：00～ 場 所：薦原市民センター 対 象：2地域（国津、薦原） 参加者数：国津 7名、薦原 4名、社協 2名</p> <p>2) 「軽自動車を活用した外出支援の進め方について」 日 時：令和5年3月7日（火）10：00～ 場 所：隠おたがいさん事務所 対 象：2地域（すずらん台、名張） 参加者数：すずらん台 3名、名張 3名</p>

2. 日常生活支援の担い手となるボランティア等養成事業強化

日常生活支援の担い手となる地域ささえあい活動者に向けた研修や、スクエアステップリーダー養成研修・交流会を開催しました。

また、地域型居場所こども食堂の活動を広く理解してもらうため、コープみえと伊賀市社会福祉協議会による合同企画として講演会を開催しました。

生活支援活動者 フォローアップ研修	日 時：令和5年3月3日（金）13：30～ 場 所：名張市防災センター 内 容：テーマ「広報を効果的に「伝える」方法とは」 講師 名張市 秘書広報室 高嶋 義典 氏
スクエアステップ リーダー養成研修	日 時 全5回 第1回 2月20日（月）13：30～ 第2～3回 地域実習 第4回 3月 9日（木）13：30～ 第5回 3月17日（金）10：00～ 場 所：総合福祉センターふれあい、名張市勤労者福祉会館 修了者数：15名
スクエアステップ リーダー交流会	日 時：令和5年3月17日（金）13：30～ 場 所：名張市勤労者福祉会館 対 象：スクエアステップリーダー 参加者数：31名
くらしあんしん講座 オンライン （主催：コープみえ） （共催：伊賀市社協、 名張市社協）	日 時：令和5年2月4日（土）13：30～ 場 所：名張市総合福祉センター 展示ホール（パブリックビューイング会場） 内 容：「食ること・生きること・つながること ～私たちができるミライ応援団！！～」 第1部 発表/①相談の現場から、②地域の現場から 第2部 講義「地域の声を変化に結びつける」 講師 東京都立大学 准教授 室田 信一 氏 参加者数：オンライン受講者21名 会場受講者 14名 計 35名

4. ボランティアセンター事業

1. ボランティアコーディネーターの配置

地域での見守り活動やボランティア活動への支援強化を図るため、ボランティアコーディネーターを1名配置しました。

2. ボランティアセンター運営委員会

市民のボランティアに対する理解と関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行うと共に、ボランティア相互の連携を図り、地域福祉の推進に寄与することを目的とするボランティアセンターの円滑な運営とボランティア活動の推進を図りました。

第1回	令和4年5月24日（火） 内容：・委嘱状の交付 ・名張市ボランティアセンター運営委員会について ・委員長（1名）、副委員長（2名）の選出について ・名張市社協 理事（1名）、評議員（1名）の選出について ・名張市共同募金委員会 運営委員（1名）の選出について
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいフェスティバル実行委員の選出と推薦について ・令和3年度名張市ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンターの取り組みについて ・令和4年度名張市ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンターの事業計画について ・ふれあいフェスティバル実行委員会委員の選出について
第2回	<p>令和4年8月3日（水）</p> <p>内容：・第52回名張市社会福祉大会における被表彰者の推薦について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいフェスティバルの開催について ・人生100年時代を楽しく生きる地域ボランティア講演会について ・夏休みボランティア体験会について ・シニアボランティア募集について ・福祉まちづくりセンター第1四半期の事業実施報告について
第3回	<p>令和5年2月22日（水）</p> <p>内容：・名張市社協理事及び評議員選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名張市共同募金委員会運営委員選出について ・ボランティアセンター取り組み状況報告 ・福祉まちづくりセンター実施状況報告 ・意見交換

3. 課題解決にむけた連携機能の強化

ボランティア連絡協議会は定期的に行われ、ボランティア団体同士の連携と強化を図るとともに、新たなボランティアグループの協議会へ参加について協議しました。

ボランティア連絡協議会への参加団体数	12団体
ボランティア連絡協議会定例会への参画	11回

4. ボランティア活動へのきっかけづくり、人材養成研修の企画・実施

地域でボランティア活動を始められる機会を目的とした講演会を開催しました。また、名張市老人福祉センターふれあいとボランティアセンターで、フレイル予防サポーターの人材を募集し、10月から活動を実施しました。

地域ボランティア講演会	<p>人生100年時代を楽しく生きる地域ボランティア講演会</p> <p>日時：令和4年8月23日（火）13:30～</p> <p>場所：名張市武道館いきいき</p> <p>対象：企業等で働いていた人やボランティアに関心興味ある方</p> <p>内容：第1部 講演会 テーマ「人生100年時代を生きる大人の居場所づくり」 講師 落語家 林家 たい平 氏</p> <p>第2部 ボランティア対談 テーマ「ボランティアの第一歩を始めるには」 対談者：高木 良一 氏、草部 豊美 氏、林家 たい平 氏</p> <p>参加者数：80名</p>
-------------	---

シニアボランティア	シニアボランティア 第一弾：フレイル予防サポーター 内 容：老人福祉センターふれあい のマシン・トレーニング教室 初回で行う「体力測定」での誘導・見守り・簡単な補助サ ポーター 申込者数：5名
地域福祉担い手養成 (生活支援員・ 傾聴ボランティア)	日 程：10月5日、10月19日(2日間) 場 所：名張市総合福祉センターふれあい 参加者数：25名 (内、傾聴ボランティア登録者 3名)

5. 福祉教育の充実と推進

①福祉協力校との連携による出前講座等の開催

小中学校における福祉教育は、新型コロナウイルス感染防止のため、感染対策と注意喚起をした中で、出前講座を実施しました。また、出前講座の依頼を増やすため、福祉体験メニューチラシを作成し、令和4年度 第1回名張市福祉協力校連絡会で周知啓発を行いました。

福祉教育 出前講座	内容：車いす体験、視覚障がい者体験、高齢者疑似体験、ユニバーサルデザイン紹介など ・百合が丘小学校4年生 9月7日 ・名張中学校1年生 10月21日、10月22日 ・赤目中学校1年生 11月29日 ・桔梗が丘東小学校4年生 12月1日 ・桔梗が丘南小学校4年生 1月17日 ・箕曲小学校4年生 2月15日
-----------	--

②夏休みボランティア体験会の実施

市内小中学生を対象に、夏休み期間中、地域のサロン活動やボランティア活動へ出向き、ボランティア体験を行う「夏休みボランティア体験会」を実施しました。

	地区名・団体名	体験日・時間	場所・住所	体験内容
1	名張地区 隠おたがいさん	8月9日(火) 8:30~11:00	隠おたがいさん事務 所 榊町1412	・草引き ・落ち葉はき ・利用者さんとの交流 など
2	赤目地区 忍たま広場	8月24日(水) 9:30~12:00	赤目市民センター 赤目町丈六238-1	・サロンの準備・片づけ ・おもちゃの消毒 ・参加者(乳幼児さん)と 遊ぶ・見守りなど
3	梅が丘地区 わいわい広場	8月5日(金) 9:30~12:00	梅が丘市民センター 梅が丘南5-184	・サロンの準備・片づけ ・おもちゃの消毒 ・参加者(乳幼児さん)と 遊ぶ・見守りなど
4	比奈知地区 たんぽぽクラブ	8月4日(木) 11:00~14:30	南富貴ヶ丘集会所 富貴ヶ丘5-2581	・参加者とのお話・交流 など

5	蔵持地区 ひだまりランチ カレー	8月19日(金) 11:00~13:00	緑が丘コミュニティ ハウスひだまり 緑が丘西 375-5	・サロンの準備・片づけ ・カレーやおやつ、コー ヒーの配膳 ・参加者との交流など
---	------------------------	-------------------------	------------------------------------	---

6. 災害ボランティアセンターの運営

名張市災害ボランティアセンターの運営体制の充実強化のため運営委員会を設置し、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定するとともに、災害ボランティアを対象とした研修会を開催しました。

①災害ボランティア登録

災害ボランティア登録数	個人ボランティア61名及び1団体
-------------	------------------

②災害ボランティアセンター運営委員会

第1回	令和4年6月9日(木) ・委嘱状の交付 ・委員長及び副委員長の選出について ・令和4年度事業計画について ・富田林市社協の視察報告について
第2回	令和4年8月10日(水) ・令和4年度の取り組みについて(進捗報告) ・災害ボランティアセンター設置訓練について ・災害ボランティア研修及び意見交換会の開催について
第3回	令和4年度11月28日(月) ・災害ボランティアセンター設置訓練について
第4回	令和5年2月9日(木) ・委嘱状の交付 ・災害ボランティアセンター設置訓練の報告について ・令和5年度事業計画(案)について

③災害ボランティアセンター設置訓練

災害発生時における名張市災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向け、運営手順の確認と検証及び今後に向けての課題抽出を行うことを目的に災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。

災害ボランティア センター設置訓練	日 時：令和4年12月11日(日) 9:00~12:00 場 所：英心高等学校 内 容：・ブルーシート貼り付け ・机/椅子などの配置検討 ・グループワーク 参加者数：36名
----------------------	---

④災害ボランティア研修会

平時から連携・協働を図り、支え合いなどの「地域力」を養っていく必要があることから、災害ボランティアを対象とした研修会を開催しました。

災害ボランティア 研修会	日 時：令和4年9月22日（木）10：00～12：00 場 所：名張市教育センター大研修室 内 容：講演会 テーマ「西日本豪雨災害における災害ボランティア センターの活動と今後の取り組み」 講師：岡山県総社市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 佐野 裕二氏 参加者数：41名
-----------------	--

5. 福祉まちづくりセンター事業

福祉まちづくりセンターをショッピングセンターリバーナ3階に設置し、10時から19時まで（土日祝含め）開設することにより、ボランティア相談やボランティア活動保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることに取り組みました。

1. 相談、活動支援

①相談実績（相談区分と件数）

ボランティア 相談区分	新規	継続	延べ	ボランティア以外 相談区分	新規	継続	延べ	
ボランティア依頼	75	31	106	情報提供等	185	15	200	
ボランティア希望	33	29	62	社協事業問合せ	645	48	693	
活動支援	271	21	292	受付(申込等)	558	6	564	
情報提供	20	3	23	問合せ(軽微なもの)	154	2	156	
情報発信	5	1	6	助成受付	19	1	20	
その他	22	1	23	その他	125	3	128	
計	426	86	512	計	1,686	75	1,761	
窓口利用者数							1,363	

②会議室等利用実績

利用件数	利用団体	利用者数
89件	61団体	504人

③イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、「椅子に座って健康体操」「歌声広場たんぼぼ」「脳トレ楽習」など、気軽に参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に取り組みました。

イベント開催回数	参加延人数（協力者含む）
337回	2,704人

④イベント等ボランティア活動の場づくり事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止が余儀なくされる中、再開時には、ボランティア団体等と協働でイベント等を実施しました。

開催日	イベント内容	参加数
10月16日（日）	こどもなんでも体験団 「伝統の組紐づくり体験」	14名 (応募者46名より抽選)

12月18日(日)	「おもちゃ図書館&おもちゃばこ」 合同クリスマス会	こども10名、大人10名 ボランティア8名
-----------	------------------------------	--------------------------

2. ボランティア活動の場づくり

①ボランティア活動実践の場としてのイベント開催《ふれあいフェスティバルの開催》

ボランティアの活動実践の発表の場としての『ふれあいフェスティバル』を開催すべく、5回の実行委員会を開催しました。

第1回	8月29日(月) 委員9名出席 内容 ・令和4年度 ふれあいフェスティバル開催について ・開催方法について
第2回	9月20日(火) 委員9名出席 内容 ・チラシ・ポスターについて ・事前説明会について ・会場レイアウトについて ・実行委員の役割について ・スタンプラリーについて
第3回	10月28日(金) 委員9名出席 内容 ・チラシ・ポスターについて ・スタンプラリー景品について ・実行委員会役割について
第4回	11月15日(火) 委員8名出席 内容 ・受付・感染対策について ・ステージ発表について ・ブース出展について ・スタンプラリーについて ・ボランティア・来場者アンケートについて
第5回	12月14日(水) 委員8名出席 内容 ・令和4年度 ふれあいフェスティバルを終えて ・令和5年度 ふれあいフェスティバルに向けて

新型コロナウイルス感染症拡大に注意を払いつつ、館内は飲食を禁止とし外に模擬店2店を配置しました。また、様々なボランティアを知ってもらうことやボランティア同士の交流を目的にスタンプラリー方式で各ブースを回れるように工夫しました。3年ぶりの開催ということもあり多くの来場者がありました。

3. 広報啓発

福まち新聞	月1回(1日発行) Vol. 148~158 (計10回)
情報発信、啓発 (随時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや、ツイッター ・地域の広報紙やボランティアに関するチラシ等の設置 ・イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示 ・センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示

4. 交流活動

①おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」の開催

おもちゃばこ	第2・4日曜日(保護者90名 子ども134名) ボランティアの参加(個人15名 団体1組)
--------	--

②家族介護者の会「楓の会」共催による事業実施

さくら喫茶	毎月1回(計8回) 参加者57名 ボランティア8名
介護者のつどい	3月23日(水) 総合福祉センターふれあいホール ・会員7名、民生他3名、個人V1名、指導員4名

5. サテライト機能の再構築と「重層的支援体制整備事業」の推進に伴う実施体制の整備

複雑化・複合化した課題を抱えている人を早期に発見するために、地域担当や「なばり暮らしあんしんセンター」、関係機関、地域関係者等と連携し、自ら支援を求めることのできない人の把握につとめました。

6. 福祉団体等当事者活動支援

1. 福祉団体等との連携・協働の強化、当事者活動支援

①福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体(老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会)との「事務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議への出席等各福祉団体と連携することにより、各団体活動が円滑に実施することができました。

②家族会等の活動支援

ア. 家族介護者の会「楓の会」運営支援

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに「さくら喫茶」や「介護者のつどい」を共催で行いました。

イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、毎月1回定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。団体である強みを活かした活動の提案をし、定例会の充実をはかり会員数の増加につながりました。

ウ. 障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3障がい(知的・精神・身体)を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局としての支援を行いました。

9月26日(月)	三役会の開催(2回) ・新型コロナウイルス感染防止のため開催中止を決定
----------	--

③とれたて名張交流館事業への参画

とれたて名張交流館運営協議会へ参画し、「とれなば」の健全な運営に向け販売啓発品を出店団体に生産依頼し、高齢者や障がい者団体への支援を行いました。

「とれなば」への出展団体数	14団体
---------------	------

④追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会主催における追悼式開催へ助成を行いました。(8地区)

⑤交流活動

おもちゃ図書館の運営

開館日数	196日
利用者数	319名(大人143名、子ども176名)
協力ボランティア	1名(活動日数 41日)

2. 地域福祉活動助成事業

①地域福祉活動助成事業

社協会費、共同募金配分金、善意銀行寄附金等を財源とした福祉活動等への助成を行うことにより、各団体の福祉活動を支援しました。

地域福祉活動助成事業 事業名	助成額	財源
地域見守り配食事業	1,620,100円	共同募金配分金(8件)
地域見守り事業	2,290,000円	共同募金配分金(69件)
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	331,750円	補助金(10件)
ボランティア活動事業	995,000円	共同募金配分金(29件)
福祉協力校活動事業	510,000円	共同募金配分金(21件)
当事者・家族会活動事業	100,000円	善意銀行寄附金(5件)
福祉活動備品整備事業	500,000円	善意銀行寄附金(1件)

配食ボランティアグループに対して、名張市と協議・連携し、共同募金配分金を財源として名張市配食ボランティア活動食材等高騰臨時支援金を交付し、配食活動を支援しました。

助成内容	金額	実施先
名張市配食ボランティア活動食材等高騰臨時支援金	322,660円	市社協(9件)
名張市高齢者配食サービス活動費補助金	926,224円	市(9件)

②各地域づくり組織への福祉活動助成

社協会費、共同募金、赤十字活動資金の納入実績に応じて助成を行うことにより、各地域づくり組織の福祉活動を支援しました。

助成内容	金額
社協会費の納入実績に応じた助成	3,025,820円
共同募金の納入実績に応じた助成	1,282,240円
赤十字活動資金の納入実績に応じた助成	629,540円

③歳末たすけあい運動配分事業

歳末たすけあい運動配分金及び三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクト配分金を財源とし、児童養護施設の子どもの進学、就職支援や配食ボランティア活動、地域づくり組織の友愛訪問、障害者福祉施設やサロン等への助成を実施し、年末年始の福祉活動等を支援しました。

事業名	配分額	財源
在宅・施設入所者への贈呈事業	1,260,000円	歳末配分金(72件)
	50,000円	百貨店配分金(25件)
地域福祉・在宅サービス事業	1,537,401円	歳末配分金(97件)
	290,000円	百貨店配分金(24件)

3. 名張市共同募金委員会事業

①名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、名張市共同募金委員会を開催し事業を展開しました。

運営委員会	委員10名 開催4回、 監事2名 監査1回
-------	-----------------------

②名張市共同募金運動の展開

ア. 地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

イ. 法人募金の取組み

市内企業を中心に訪問等により協力依頼しました。また、(株)ユー(伊賀タウン情報ユー)による、紙面広告にあわせての法人募金の取組みへの協力をいただきました。

協力いただいた企業等	124件	募金額	1,123,480円
------------	------	-----	------------

ウ. 共同募金実績 9,197,436円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	全世帯協力依頼
街頭募金	市内スーパー等16店舗にて31ヵ所実施(協力153人)
法人募金	市内の企業等へ依頼(依頼299法人、協力124法人)
学校募金	小学校14校、中学校5校、高校2校、高等専門学校1校 特別支援学校1校、通信制高校1件
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼 (依頼48職域、協力42職域)
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発(7ヵ所11日間)
個人募金	個人での協力やバッジ等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置(協力75件)
UMOU募金	主に市内から羽毛製品の回収30点

エ. 歳末たすけあい募金実績 2,797,401円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	全世帯協力依頼
個人募金	名張市仏教会様、他1件より寄附

オ. 新しい募金方法の取組み

- ・赤い羽根募金百貨店プロジェクト

参加企業から地域住民へ寄附付商品を提供し、収益の一部を募金していただく、三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクトの取組みを進めました。新たに2企業にご参加いただきました。

参加企業	寄附付商品内容	募金額
7企業	食事代、宴会代や販売収益の一部を寄附	130,280円

- ・赤い羽根自動販売機の設置

飲料メーカーのご協力をいただき、4台の社会貢献型自動販売機による募金活動を推進しました。

カ. 災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
熊本県南豪雨義援金	令和2年7月7日 ～令和4年9月30日	15,587円
令和4年7月15日から的大雨に係る災害義援金	令和4年8月8日 ～令和4年10月31日	57,621円
令和4年台風15号災害静岡義援金	令和4年9月27日 ～令和4年12月28日	63,610円

③共同募金を活用した社協主催事業

ア. 広報、啓発事業

名張市社会福祉大会を名張市と共催で開催し、社会福祉活動等に功績のあった個人・団体を顕彰しました。また、社協だより「ほほえみ」へ共同募金の計画や報告等の掲載による啓発を行いました。

3年ぶりにふれあいフェスティバルを開催し、ボランティア同士や市民の方との交流を通じて、ボランティア活動等について周知することができました。

イ. 当事者等支援事業

在宅介護者が日頃の悩みや介護体験を相互に交流することにより、心身のリフレッシュや各種情報交換を図ることを目的に、介護者のつどいを開催しました。

介護者のつどい	ボッチャ大会&交流会 開催日：3月23日（木） 総合福祉センター ふれあいホール 参加者：11名
---------	--

④共同募金運動と地域福祉推進強化のための配分の在り方の検討

三重県共同募金会より、配分要綱等の見直しが行われ、10項目の対応策と17項目の取り組み内容が取りまとめられました。これに基づき、時代のニーズに応える事業として、名張市共同募金委員会において事業の点検・見直しをし、継続や見直し、廃止を判断し、配分事業の実施結果について検討を行いました。

4. 善意銀行事業

①寄附金品の管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、運営委員会を開催し、善意銀行の運営を行いました。

ア. 名張市善意銀行運営委員会の開催

6月3日（金）	令和3年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 令和4年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
12月8日（木）	令和4年度寄附状況と配分（支出）状況について 令和4年度名張市善意銀行 補正予算について
3月16日（木）	令和4年度寄附状況と配分（支出）状況について 令和5年度事業計画（案）について

イ. 寄附受領実績

種 別	件 数	金 額・物 品
現金の寄附	14件	635,949円
物品の寄附	2件	車いす2台

②計画的な運用

事業内容	金 額	備 考
罹災者救援要綱に基づく見舞金	20,000円	1件
地域見守り配食事業	0円	
福祉活動備品整備事業	500,000円	1団体
当事者・家族会活動事業	100,000円	5団体
車イス一時貸出事業	70,200円	修理、点検、消毒
指定寄附	100,000円	子ども食堂
計	790,200円	

5. 日本赤十字社名張市地区事業

①日本赤十字社名張市地区事業

日本赤十字社活動資金募集の為に地域づくり組織や市内法人等に協力依頼文章の配布、電話でのお願い、訪問でのお願い等に取り組みました。結果、昨年よりも多く総額8,212,172円を集めることができ、地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より629,540円を助成しました。

日赤活動資金の実績

活動資金の内容	金 額
各世帯	6,295,761円
法 人	776,440円
個人・口座振替	1,139,971円
合 計	8,212,172円

②活動資金募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4月から5月にかけて15地域の会合に出向き、年間通じて取り組む各種資金募集への協力を依頼しました。

③地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より助成しました。

地域づくり組織への福祉活動助成	629,540円
-----------------	----------

④災害義援金・救援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、日本赤十字社を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
平成30年7月豪雨災害義援金 (岡山・愛媛・広島)	平成30年7月10日～ 令和4年6月30日	3,150円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金 (福島・宮城)	令和4年3月23日～ 令和4年6月30日	85,001円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金 (山形・新潟・石川・福井)	令和4年8月12日～ 令和5年3月31日	71,672円

NHK海外たすけあい	令和4年12月1日～ 令和4年12月25日	100,000円
ウクライナ人道危機救援金	令和4年3月2日～ 令和6年3月31日	2,157,321円
2023年トルコ・シリア地震救援金	令和4年2月9日～ 令和4年5月31日	404,621円
地域を指定しない海外救援金	通年	300,000円

6. 地域における公益的な活動

①法人（社協）における公益的な取り組み

ア. 地域福祉活動支援備品の貸出

地域福祉活動を支援するため、活動に役立つ各種備品を貸出しました。

貸出件数	454件 プロジェクターや模擬店機材等(347件) 地域福祉教育備品(10件)、 楽器等(97件)
利用団体数	195団体

イ. 車イス無料貸出事業

市民団体や企業等から寄贈いただいた車イスを、市民がケガ等により一時的に必要とされる場合の支援として延べ131件貸出をしました。

使用目的	貸出件数
通院や通学のため	65件
買物等行楽のため	49件
自宅内での移動のため	15件
その他	2件

ウ. なばり暮らしあんしんセンター

1. 福祉サービス利用援助事業

1. 日常生活自立支援事業の推進

日常生活自立支援事業の相談件数は、前年度より187件増加しました。新規契約の締結は6件、実利用人数は6名減少し71名になりました。契約終了件数については12件で、解約の理由は本人の希望が3件、親族の管理が2件、施設入所3件、入院1件、死亡3件、後見人の着任が1件でした。当会が実施する成年後見事業や市内関係機関と連携し切れ目のない権利擁護支援に取り組みました。

①相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問い合わせ件数	0	1	0	0	1
初回相談件数	17	10	2	0	29
相談援助件数	1,130	2,119	1,990	98	5,377
契約締結件数	3	2	1	0	6
終了件数	5	3	4	1	13
実利用人数 (令和4年度末)	13	29	28	1	71

実利用者数の推移

年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実利用者数	63	67	73	77	71

②生活支援員活動の推進

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	13	26	28	1	68
活動者数(登録者26名、うち新規5名) 生活支援員による支援 68件/71件 支援員対応率96%					

③「地域福祉」担い手養成研修 ～生活支援員養成講座～

10月5日、10月19日 2日間で開催

参加者23名、修了者22名(内、生活支援員登録者16)

④生活支援員定例会の開催

活動中の生活支援員を対象に、県の社会福祉協議会が主催する生活支援員の研修会と3年ぶりに定例会を下記のとおり開催しました。

令和4年12月13日(水)	令和4年度 日常生活自立支援事業 生活支援員等研修会 参加者： 9名
令和5年3月23日(木)	日常生活自立支援事業生活支援員研修 「発達障害のある方への理解と接し方について」 上野病院 院長 平尾 文雄氏 岸本 光一氏

2. 相談支援体制の強化

①関係機関との連携

三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関との情報共有や支援連携を実施しました。

会議等への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会（毎月・ZOOM） ・地域ケア会議、カンファレンスへの参加（28回）
---------	--

②資質向上にむけた研修会等への参加

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システム等を活用したオンライン研修に参加しました。

研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村における包括的支援体制整備に向けたテーマ別研修（全5回） ・第8回消費者生活相談等勉強会（11/22） ・相談支援包括化推進専門員養成研修（12/2、12/19、12/22）
---------	---

2. 成年後見事業

1. 法人後見事業の運営

①法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上保護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

（令和4年度受任件数：後見5件、保佐2件）

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見(5件)	11	115	200	326
保佐(2件)	34	110	1,400	1,544

②法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員・児童委員、名張市等の参画のもと3回開催しました。

開催回数・日程	検討項目
第40回 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見受任者の経過報告と支援計画について ・候補者の承認審査について ・相続案件について 等
第41回 9月	
第42回 3月	

③研修等への参加による職員の資質の向上

研修等に参加し、専門的知識を深め支援の質の向上に努めました。

研修会の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修（10/20） ・市町村における包括的支援体制整備に向けたテーマ別研修（全5回） ・第8回消費者生活相談等勉強会（11/22） ・相談支援包括化推進専門員養成研修（12/2、12/19、12/22） ・相続シンポジウム多様化するライフスタイルとこれから（12/5） ・持続可能な権利擁護支援モデル事業プレ研修（2/1） ・「最後まで自分らしく」を支えていくために（3/2） ・成年後見適切な後見人選任と交代・育成の推進（3/3）
出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員として考える権利擁護について（3/14） <p>（主催：伊賀市社会福祉協議会・共催：名張市地域包括支援センター）</p>

④法人後見支援員の育成・支援

被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を確保し、法人の強みである身上保護面の対応を中心に法律関係者等と連携して育成・支援に取り組みました。

(法人後見支援員数：6名／担当件数6件)

2. 名張市における法人後見受任体制のあり方検討（法人後見支援員による実務）

名張市では第三者後見人（担い手）不足が深刻なことから、法人後見の特性である複数人体制で、その人らしく地域で生活できるよう、特に意思決定支援・身上保護面を重視した後見活動ができる体制作りの検討を行いました。法人後見専門員の専門性向上にとどまらず、法人後見支援員の価値・知識・技術の向上を図るため実務経験を積み重ねています。

法人後見支援員による主な後見実務は、各種証書類更新申請、登記事項証明書申請、家裁への事務報告・報酬付与申立等です。本年度は1件新規受任がありましたので受任時各種手続きを行いました。

3. 相談支援体制の強化

関係機関等と情報、支援方針を共有し、チーム支援に取り組む体制強化を推進しました。

地域ケア会議等関係機関との協議	<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀地域福祉後見サポートセンター (運営委員会2回、実務担当者会議2回、名張市地域包括支援センターとの情報交換会11回) ・津家庭裁判所伊賀支部との意見交換会 2回 ・地域ケア会議、カンファレンスへの参加 30回
-----------------	---

4. 権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や高齢者や障害者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
新規相談	4	0	1	2	7
継続相談	34	0	3	5	42
問合せ	0	2	0	0	2

3. 生活困窮者自立支援事業

重層的支援体制整備事業が施行され、属性を問わない包括的な支援体制を構築する仕組みが改めて推進されています。なばり暮らしあんしんセンターでは、包括的な相談窓口の1つとして既存の制度や支援機関では対応が難しい生活困窮者を幅広く受け止め、関係機関と連携しながら、本人に寄り添った支援を行ってきました。

仕事、金銭、健康及び家族に関する問題など、様々な困りごとを抱える生活困窮者に対して、課題を整理し、本人とともに目標や具体的な支援プランを作成し、自立に向けて、伴走型の支援を行いました。また、生活保護受給者に対する支援を一体的に実施することで、切れ目のない相談支援に取り組みました。

1. 相談支援体制の基盤強化

生活困窮者自立支援事業の専門相談員の確保を図るとともに、相談援助職として必要となる知識・技術等の向上のため、研修会に参加し、相談員の資質向上を図りました。

また、社協が持つ日常生活自立支援事業や福祉資金貸付事業、居宅介護支援事業等との連携を図るとともに、市内社会福祉法人をはじめとする地域のネットワークを活用し、支援体制の基盤強化を図りました。

研修会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度精神保健福祉基礎研修会【基礎知識編】 ・令和4年度精神保健福祉基礎研修会【基礎技術編】 ・令和4年度第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会 ・令和4年度キャリアパス対応生涯研修「チームリーダーコース」 ・令和4年度第1回伊賀地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 ・三重県居住連絡会令和4年度第1回作業部会 ・令和4年依存症ネットワーク会議 ・令和4年度キャリアパス対応生涯研修課程「管理職コース」 ・令和4年度 第8回消費生活相談員等勉強会 ・コープみえ伊賀センター交流会 ・市町における包括的支援体制整備に向けたテーマ別研修 ・特例貸付の償還猶予説明会 ・孤立を防ぐ『地域づくり』人材養成研修「全世代の活躍支援」 ・孤立を防ぐ『地域づくり』人材養成研修「若い世代のつながりづくり」 ・令和4年度 総合相談・生活支援事例検討会
---------	---

2. 必要な方へ必要な情報を届けるための周知啓発

生活困窮者自立支援事業に関する事業啓発を傾聴ボランティア団体に行いました。また、エリアディレクター会議に毎回出席し、関係機関で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら円滑にネットワークをつくることができました。

情報交換会・交流会への開催、参加	<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀市社協・名張市社協・コープみえ伊賀センター交流会 ・伊賀市社協・名張市社協生活困窮者自立支援事業情報交換会 ・第9回隠おたがいさん関係機関との交流会 ・ジョブサポートハオとの交流会 ・「くらしあんしん講座」食べること・つながること ～わたしたちができるミライ応援団～ ・主任相談支援員意見交換会 ・名張市空家等対策推進協議会
------------------	---

3. みえ福祉の「わ」創造事業 食糧提供支援等実施状況

三重県内の社会福祉法人が、協働して「制度の狭間の課題」に取り組む三重県社会福祉法人地域公益活動事業みえ福祉の「わ」創造事業を活用し、生活に困窮される方へ食糧提供等を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供	5	7	5	5	2	7	4	10	2	4	4	9	64
緊急時物品等支援	0	0	1	0	0	1	0	1	2	1	2	2	10
合計	5	7	6	5	2	8	4	11	4	5	6	11	74

4. 生活困窮者対策支援事業

名張市八幡のコープみえ伊賀センターが実施する宅配サービスで発生した返品商品や余剰品を生活に困窮される方へ食糧として提供するため生活協同組合「コープみえ」と協定を締結し、以下のとおり食料提供を行いました。

多くの市民の方々からの食糧等寄付をいただき、緊急で必要とされる生活困窮者世帯に食糧を提供しました。その数は個人11名・7団体・2企業から89回にわたる支援でした。

緊急食糧提供	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
「コープみえ」	2	3	10	3	1	4	9	8	8	3	3	10	64
市民・企業・団体	31	18	24	15	20	27	17	28	21	23	18	29	271
合計	33	21	34	18	21	31	26	36	29	26	21	39	335

5. 三重県居住支援連絡会への参画

住まいの確保が難しい方(住宅確保要配慮者)に対し、緊急対応の案内といった必要な支援を行うことを目的に、名張市とともに、居住支援団体として生活相談会を2月18日に開催しました。三重県県土整備部から視察に来られ、居住に対する不安の相談だけでなく、不動産を福祉的に利用したいなどの相談がさせられました。

2月18日(土) 13時～16時	主催：名張市社会福祉協議会 共催：名張市営繕住宅室 ・ 三重県居住支援連絡会 実施場所：名張市社会福祉協議会 ふれあい内展示ホール 参加者2組
---------------------	---

6. 自立相談支援事業

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークを行い、本人とともに課題を整理し、プランを作成することにより、自立に向けた支援を実施しました。

就労支援に関しては、25件の企業を訪問し、参加依頼を行いました。40名が就労を開始することができ、内14名が支援終結となっています。

①相談件数(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	193	148	129	85	121	106	95	89	121	93	103	112	1395
訪問	81	35	25	27	24	58	26	36	28	31	38	42	451
来所	27	89	90	55	68	60	57	78	48	59	76	75	782
連携	52	50	15	24	19	24	16	13	11	16	16	22	278
同行	29	3	8	5	5	7	5	10	11	3	10	13	109
メール	2	2	7	7	4	3	5	14	3	7	2	2	58
カンファレンス	0	1	3	2	0	4	0	0	1	1	2	1	15
その他	0	1	2	0	0	3	5	4	12	0	3	10	42
合計	384	329	279	205	241	265	209	244	235	210	250	277	3128

②住居確保給付金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入が減少し、離職・廃業と同程度の状況にある方(離職・廃業から2年以内の方または休業等)に対して、家賃相当額を名張市から家主に支給する住居確保給付金に関する相談や申請受付を行いました。

新規・延長・再延長・再々延長・再支給の合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	50	69	83	56	76	82	69	66	76	53	68	58	806
申請件数	7	5	3	7	4	9	5	2	6	5	6	8	67
承認件数	7	5	3	7	4	9	5	2	6	5	6	8	67
金額	260	188	103	250	144	308	179	83	205	179	230	262	2391

(金額：千円)

③支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、関係機関と支援調整会議を月1回開催しました。

支援決定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	4	9	3	3	3	4	6	7	6	2	6	3	56
評価再プラン	2	1	4	4	1	2	1	4	3	2	1	0	25
モニタリング検討	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	2	8
終結	0	0	3	4	5	2	4	1	4	4	0	2	29
合計	7	11	10	12	9	8	12	12	14	9	7	7	118

④生活保護受給者等就労自立促進事業の実施

離職者等に対し、就労支援等を実施しました。

10代	20代	30代	40代	50代	60代
0名	0名	0名	1名	0名	0名

7. 就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対し、以下の支援を段階的に実施しました。ニーズに応じた段階的な支援メニューを提供することにより、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施することができました。

①支援実施状況

- ・就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援
- ・コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援
- ・就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

ア. 就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4
訪問	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
体験	0	0	0	0	0	0	0	5	9	5	2	0	21
来所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
合計	0	0	0	0	0	0	3	5	10	7	4	0	29

※体験には見学も含む

イ. 被保護者就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	12	2	0	0	0	0	0	1	4	5	1	1	26
体験	0	0	1	2	1	0	6	6	2	2	5	6	31
その他	11	13	11	5	0	4	6	0	3	1	0	0	54
合計	23	15	12	7	1	4	12	7	9	8	6	7	111

※体験には見学も含む

②協力事業所における就労体験

主に市内にある事業所の協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供しました。事業所における実際の業務を体験することで、就労に向けての経験を積めるよう支援を行いました。本年度は、新型コロナウイルス感染症による影響をうけ2事業所のみの実施となりました。

支援実施状況（延べ件数）

事業所名	体験	見学	事業所名	体験	見学
GokiBank	11	0	ASA ネットワーク 桔梗が丘西部	0	0
隠おたがいさん	0	0	NPO 法人アガベの家	121	0
特別養護老人ホーム国津園	0	0	株式会社ユー	0	0
名張特別養護老人ホーム	0	0	レインボークラブ	0	0
協力事業所 合計 8事業所				132	0

8. 家計改善支援事業（旧家計相談支援事業）

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等、家計に関する生活課題を抱えている生活困窮者に対して、家計支援の視点から、自立に向けての支援を実施しました。生活困窮者本人が家計の現状を理解し、改善方法を考え、将来にわたって家計管理ができるよう、支援を実施しました。

①支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話・メール	5	2	9	6	1	2	2	2	2	2	0	3	36
訪問	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	1	10
来所	4	2	1	3	2	2	2	2	3	3	2	3	29
カンファ・連携	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
同行	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	6
合計	17	12	10	9	3	6	6	4	6	7	6	7	93

9. 被保護者就労支援事業

稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業における支援調整会議と一体的に運営することで、情報の共有も容易になり、両事業で連携した支援が可能となりました。

支援決定	6月 1件、7月 2件、10月 2件、2月 1件 合計6件
その他・協議	合計0件

4. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者が社会生活を営むなかで、不時の出費を必要とする場合に、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう、民生委員・児童委員や名張市社会福祉事務所、三重県社協と連携した貸付事業を行いました。

1. 地域福祉金庫貸付事業

地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者等に対して、3万円を上限とした緊急的な貸付支援を行い、社会生活が送れるように自立相談・償還指導を行いました。また、生活保護受給者（申請中含む）に対しては、効果的な貸付けを行うため名張市社会福祉事務所との連携を図りました。

貸付相談件数（延数）	274件
貸付金額	1,078,000円（47件）
償還額	887,000円（45件）
未償還額（過年度分含む）	870,000円（37件）

2. 生活福祉資金貸付事業

障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行う事により経済的自立や生活意欲の助長促進を図りました。

近年、複合的な生活課題を抱え、相談される方が多く、生活困窮者自立支援事業と連携し自立に向けた支援や社会参加を図ることができました。

①相談及び貸付内容

資金の種類	相談件数(延数)	貸付件数	貸付金額	
総合支援資金	8	0	0円	
福祉資金	療養費・介護費	4	0	0円
	福祉費（転宅費）	109	3	404,000円
	福祉費（住宅改修費）	13	0	0円
	障害者自動車購入費	15	1	2,500,000円
	生業費	24	0	0円
	技能習得費	0	0	0円
	緊急小口資金	50	2	160,000円
教育支援資金	156	6	3,878,000円	
不動産担保型生活資金	36	0	0円	
その他	3	0	0円	
合計	418	12	6,942,000円	

②長期滞納者面談

件数	5件
----	----

3. 生活福祉資金貸付事業の特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や失業状態などになり、収入が減少して生活資金にお悩みの方に対し、緊急かつ一時的な生計維持のための生活費として特例緊急小口資金、ま

た その収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難な方に、生活の立て直しまでの一定期間(3 か月)の生活費として特例総合支援資金の貸付を行いました。

新型コロナ特例貸付の緊急小口資金・総合支援資金の新規申請は9月30日を以て貸付申請の受付を終了しました。令和5年1月より 特例貸付に関する償還が開始されたため償還免除申請や、償還猶予申請、償還月額変更に関する相談支援を行いました。

① 特例緊急小口資金

新型コロナウイルス感染症による経済への影響による休業等を理由に、一時的な資金が必要な方への緊急小口資金貸付を実施。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	10	11	12	17	6	9	0	/					65
申請件数	4	7	7	6	3	5	0						32
承認件数	2	6	5	5	4	3	2						27
金額	40	120	100	100	80	60	40						540

(金額：万円)

② 特例総合支援資金

失業や収入減少が長期にわたり生活に困窮された方には、生活の立て直しのための安定的な緊急総合支援資金貸付を実施。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	3	3	4	4	6	7	1	/					28
申請件数	2	3	2	3	3	6	0						19
承認件数	4	0	4	2	2	2	3						17
金額	210	0	210	120	120	105	165						930

(金額：万円)

Ⅱ【在宅福祉サービス拠点】・【老人福祉センター「ふれあい」拠点】

(介護支援課)

令和4年度は、昨年度に続き「コロナ禍での事業継続」でありましたが、「重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を持っている方に対応していること」・「クラスターの発生しやすい業務」であることから、職員自身も常に緊張感を持ち「感染しない・持ち込まない・感染させない」ことを強く意識し、業務上だけでなく日常生活での行動制約等も含め、職員及び職員家族の協力も得ながらの「感染対策の徹底」を行いながら、健全経営のために「利用者確保」と「提供サービスの向上」に努めました。

重点目標別実績

重点目標 1		中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケアの推進		
●事業別実績				
(1) 老人デイサービス事業				
コロナ禍ではありましたが、ケア内容の維持に努め、ふれあいデイサービスの特徴である、				
・中重度（要介護3以上）及び医療的ケアの必要な方の積極的な受入				
（医療的ケア：胃婁、在宅酸素管理、インシュリン、バルーン管理、ストマ管理、吸痰処置、褥瘡処置等）				
・機能訓練指導員による個別機能訓練の実施				
など「中重度ケアと自立支援介護」の両立に努めました。				
それらにより、令和2年度・3年度と新型コロナによる影響で利用者減が続き、経営的にも苦しい状況が続きましたが、利用状況は回復傾向がみられます。				
①年間実績概要：介護給付（要介護1～5）＋総合事業（要支援1.2）				
		令和3年度	令和4年度	比較増減
開設日		308日	307日	▲1日
介護給付 (要介護1～5)	実利用者数(年)	559人	639人	80人
	実利用者数(月平均)	46.6人	53.2人	6.6人
	延利用者数(年)	4,881人	5,476人	595人
	延利用者数(月平均)	406.8人	456人	49.2人
	延利用者数(日平均)	15.8人	17.8人	2.0人
総合事業 (要支援1.2)	実利用者数(年)	85人	87人	2.0人
	実利用者数(月平均)	7.1人	7.3人	0.2人
	延利用者数(年)	535人	485人	▲50人
	延利用者数(月平均)	44.5人	40.4人	▲4.1人
	延利用者数(日平均)	1.7人	1.6人	▲0.1人
総計	実利用者数(年)	644人	726人	82人
	実利用者数(月平均)	53.7人	60.5人	6.8人

	延利用者数（年）	5,416人	5,961人	545人
	延利用者数（月平均）	451.3人	496.8人	45.5人
	延利用者数（日平均）	17.6人	19.4人	1.8人
平均介護度（介護給付）		2.73	2.97	0.24
要介護3以上割合		59.0%	65.6%	6.6%
個別機能訓練Ⅰ加算		2,770人	4,965人	2,195人
（延利用者における割合）		57.0%	90.7%	33.7%
個別機能訓練Ⅱ加算		369人	479人	110人
（延利用者における割合）		7.6%	8.7%	1.1%
運動器機能向上加算		77人	79人	2人
（実利用者における割合）		90.6%	90.8%	0.2%
科学的介護推進加算：介護（全実）		559人	639人	80人
科学的介護推進加算：総合		85人	87人	2人
ADL維持等加算（全実）		559人	639人	80人

・利用者の在宅生活の維持を目的に軽中度のリハビリニーズ者の確保のため、昨年度より個別機能訓練加算を算定しており、機能訓練目的の利用者も徐々に増加傾向にあります。

②昭和保育園との交流事業の実施

	内容
クリスマス会	園児による発表や保育士による唄の披露等をプログラムの一つとして取り入れ、制作物をプレゼントするなど交流を行いました。
日常交流	コロナ感染予防のため、デイルームには入室できませんでしたが、デイルーム外で園児が歌の披露等を行い交流機会の継続を行いました。
制作活動交流	保育園からの制作物依頼を受け、デイ利用者が保育園の発表会等で使用する飾りなどを制作し提供し、利用者自身の意欲向上を図りました。
制作展示交流	総合福祉センターふれあい2階に保育園と共同の展示スペースを設置し、市民への啓発や利用者の制作意欲の向上を図りました。

（2）居宅介護支援事業

- ・ふれあい居宅介護支援事業所は、名張市において唯一、特定事業所加算Ⅰを算定する事業所であり配置職員全員が主任介護支援専門員資格を有していることから、中重度者（要介護3以上）や医療的ケアが必要な方、地域包括支援センターから要請される困難ケース等への対応に努めました。
- ・病院、医療系施設からのターミナルケア案件（類するもの含む）を積極的に受入れることで、関連機関からの照会が増加し、新規ケースとなる傾向となっています。

・コロナ関係の厚生労働省からの各種通知に則り既存ケースへの柔軟な対応を図りました。

① 年間実績：介護給付（要介護 1～5）＋総合事業（要支援 1.2）

		令和 3 年度	令和 4 年度	比較増減
要介護 (要介護 1～5)	延利用者数 (年)	1, 839人	1, 970人	131人
	利用者数 (月平均)	153.3人	164.2人	10.9人
	ケアマネ一人当たり	28.4人	32.8人	4.4人
	平均介護度	2.51	2.50	▲0.01
	中重度率 (介護のみ)	45.1%	43.0%	▲2.1%
要支援	延利用者数 (年)	100人	112人	12人
	利用者数 (月平均)	8.3人	9.3人	1.0人
	ケアマネ一人当たり	1.5人	1.8人	0.3人
総計	延利用者数 (年)	1, 939人	2, 082人	143人
	利用者数 (月平均)	161.6人	173.5人	11.9人
	ケアマネ一人当たり	29.9人	34.6人	4.7人

※配置ケアマネジャー数：5名

※主任ケアマネジャー配置率：100%

②休日・時間外対応状況

	令和 3 年度	令和 4 年度	比較増減
通常 (8:30～17:30)	147件	151件	4件
早朝 (6:00～8:30)	33件	14件	▲19件
夜間 (17:30～22:00)	104件	98件	▲6件
深夜 (22:00～6:00)	1件	2件	1件
計	285件	265件	▲20件

③申請書類等提出代行業務

	令和 3 年度	令和 4 年度	比較増減
認定申請書、ケアプラン作成依頼 届、紙おむつ給付利用新選書等	330件	361件	31件

(3) 老人福祉センター事業

・感染対策を行いながら状況に合わせた施設管理を行い、感染予防と利用促進の両立に努めました。

【老人福祉センター「ふれあい」指定管理】

①利用状況

	令和3年度	令和4年度	比較増減
開館日数	269日	296日	27日
年間延べ利用者数	12,412人	13,419人	1,007人
(月平均)	1,034人	1,118人	84人
検温・健康チェック	12,412人	13,419人	1,007人
浴室利用者数	8,221人	8,305人	84人
福祉バス利用者数	4,475人	4,765人	290人

※新型コロナウイルス感染対策により、カラオケルームを利用中止

※台風14号接近により9月19日を臨時休館

※さくらの湯（女湯）のろ過機故障のため1月よりもみじの湯（男湯）を時間別で男女交代利用

②生きがい活動支援通所事業

ア. 事業実績

メニュー	内容・実績		
見守り・安全管理	利用者の平均年齢は高くなっており、足腰に不安のある方、物忘れのある方など、見守りが必要な利用者も増加してきており、随時必要に応じた声掛け・相談等を行っています。また、施設内の見回りも特に入浴時の事故防止の観点から30分ごとに実施しています。		
風呂の日の実施	利用者から薬湯等を喜ばれ、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月、1回（月～土）	延べ414名
ふれあカード抽選会	10回利用後のカードを応募券に当選者には1日利用無料券で利用でき、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月、1回	延べ579名
各種発表会の開催	利用者の練習成果の発表や交流の機会を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため開催しました。		
	ビリヤード大会	4月30日（土）	参加者：15名
		9月17日（土）	参加者：10名
		2月18日（土）	参加者：12名
新春カラオケ大会 七夕カラオケ大会	新型コロナウイルス感染予防の観点から中止しました。		
自主サークル活動及び趣味活動	サークル名	回数	延参加者数
	カラオケ教室	24回	254名
	いきいき書道クラブ（漢字・かな）	12回	130名
	レクリエーションサークル	11回	85名
	ながつき友の会（茶道）	2回	8名
	計	49回	477名
	趣味活動	延参加者数	
ビリヤード	1,433名		

	マーじゃん	684名
	囲碁・将棋	640名
	計	2,757名

イ. 地域活動との連携等

団体名・事業名等	内容
名張地区民生委員児童委員協議会「高齢者のつどい」	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催を中止しました。
名張地区松寿会「カラオケ大会」	
名張市社協「ふれあいフェスティバル」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防啓発コーナーの設置 ・介護予防啓発チラシの配布 ・感染対策における手洗いチェック ・歯科衛生士の夜歯科相談

ウ. 利用促進

利用案内チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月介護保険証新規交付時に同封 ・地域福祉係協力による民生委員児童委員等への配布 ・福祉まちづくりセンターでの配布
施設パンフレットの作成・配布	配布先 <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室、各市民センター、民生委員児童委員 ・地域福祉課ボランティア研修会 等
庁内動画モニター	利用案内を放送
FM なばり	利用案内を放送
社協ホームページ・広報	イベント、教室等の利用・予定案内の掲載

エ. 老朽化施設・設備への対応

主な修繕箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・もみじの湯：濾過装置配管溶接 ・さくらの湯：濾過装置故障（現在、修理調整中）
--------	--

【一般介護予防事業】

ア. 介護予防に関する知識の普及啓発及び参加促進

メニュー	内容
健康づくり・介護予防啓発チラシの配布	健康づくり、介護予防（フレイル予防）に関する啓発チラシの作成・配布
脳トレプリントの配布	認知機能維持を目的に、数独や漢字ドリル、間違い探しにチャレンジできるように毎週更新したプリントを配布
お口の健康チラシの配布	口腔機能の維持向上を目的に、啓発チラシ「はっちゃんだより」の作成・配布
介護予防事業パンフレットの作成・配布	施設パンフレット内に介護予防事業概要も記載し、まちの保健室、各市民センター、民生委員児童委員及びボランティア講演会で配布

名張ケンコー！マイレージ対象事業登録	マシン・トレーニング教室を対象事業として登録し、より多くの新規の方が介護予防事業に参画できるよう周知・啓発
--------------------	---

イ. 利用者の状態の把握

メニュー	内容
健康相談	検温コーナーで体調チェックを毎日行い、本人希望により随時健康相談に応じました。
介護予防手帳	マシン・トレーニング教室参加者にフレイル予防に関する取り組みや身体状況が記録でき、フレイル意識の向上と参加者身体状況の把握に努めました。

ウ. 介護予防に係る運動等、介護予防に関する教室の通年開催

メニュー	内容	備考
一般マシン・トレーニング教室 (基本) (追加)	(基本) 1クール7回のコースで、運動器機能の向上のため、マシン・トレーニング教室を実施(月～金曜日に実施)しました。 (追加) マシン教室経験者を対象に、1日追加してマシン・トレーニングを実施できるようにしました。	実施日数：223日 延べ 3,309名 延べ 91名
スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー(ボランティア)の協力を得て実施しました。	実施日数：46日 延べ 469名
体操の時間	身体機能の低下を予防するため、気軽に利用時に体を動かす機会を提供しました。	実施日数：106日 延べ 826名
ヨガ教室	令和2年度にプレ実施した教室を本格実施	実施日数3日 延べ25名
身体測定の日	利用者自身が健康に目を向ける機会として、握力、体重、身長を測定する日を設定し、健康受命維持についての啓発を実施	実施日数：2日 延 12名
歯科相談の日	口腔機能の維持・向上のため歯科衛生士による歯科相談を実施	実施日数：5日

※「一般マシン・トレーニング教室」の実施に当たっては、デイサービス機能訓練指導員(看護師)も協力しながらより安全に質の高い指導を実施

エ. 担い手としての参加促進

内 容		回数	延協力者数
カラオケ指導		24回	24名
フレイル予防サポーター	スクエアステップ教室	32回	62名
	ヨガ教室	3回	3名
	マシン・トレーニング教室	15回	15名

オ. 地域の多様な主体との連携及び関係団体との連携による専門職の関与

メニュー	内容
三重県歯科衛生士会名張・伊賀支部	歯科衛生士と連携して、フレイル予防における口腔ケアについての歯科相談会の実施：5日
名張市立看護学校	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受入：12日間（実10名延40名） ・実習時に、フレイル予防についての啓発ポスター及びフリーフレットを作成し、利用者への配布 ・ふれあいフェスティバル時にはフレイル予防啓発コーナーでの説明や体験コーナーを担当

カ. 地域福祉課との連携

内容	延協力者数
重層的支援体制整備事業への対応協議（地域福祉係）	<p>生活支援コーディネーター及びボランティアコーディネーターとともに、「老人福祉センターを拠点とした、高齢者の担い手としての参加」事業について検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防サポーターの育成と活動場所の検討 ・フレイル予防サポーター（シニアボランティア）の募集 ・社会参加の場としてのセンター活用検討

重点目標 2・3 健全経営体制の基盤整備・業務効率の向上と働きやすい職場づくり

(1) 事業管理について

運営管理会議の開催	<p>課長・係長・管理者による毎月定例開催（9回/年）</p> <p>【基本的検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務実績と運営課題の確認 ・職員管理上の課題の確認 ・サービス提供上の課題の確認 ・事業計画、予算について ・法人に対する調整事項について <p>【令和4年度検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新運営管理体制について ・新型コロナウイルス感染症対応について ・利用者確保について ・次期制度改正について ・令和5年度運営体制について
サービス向上検討委員会の開催	<p>課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（5回/年） （特にサービス提供・質の担保について調整）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの標準化について ・利用者確保について ・課内協力体制について ・BCP策定について
事例検討会の実施	<p>居宅介護支援：22回</p> <p>デイサービス：12回</p>

感染対策委員会の開催	課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（5回/年） ・感染状況の把握と想定課題の検討 ・職員の心身状況の確認 ・各種関連通知の確認 ・職員行動指針、ガイドラインの確認と運用徹底 等
虐待防止委員会の開催	課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（5回/年） ・虐待防止指針の策定 ・運営規程への反映 ・課内研修の実施 ・各事業所での事例取組の共有・検討

※その他、各事業所においては事業運営・サービス標準化等のために会議や事例検討会を随時開催

（2）人材育成

各種研修会等への参加

研修項目	件数	研修項目	件数
感染対策関係（コロナ、インフル、食中毒等）	4	介護保険制度関係	19
自立支援関係、介護技術	21	認知症関係	11
ケアマネジメントスキル	10	虐待、成年後見、権利擁護関係	13
災害・リスクマネジメント関係	8	地域福祉、地域包括ケア関係	3
BCP 関係	12	労務、ハラスメント関係	6
運営マネジメント、キャリアパス関係	4	運転技術	7
介護者支援	4		

※オンライン研修の活用により登録職員含めた多様な研修機会の確保に努めました。

（3）業務効率の向上と働きやすい職場づくり

ア. コロナ禍での事業継続環境の整備と活用

Zoom 活用によるリモート会議の実施	<p>【法人内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存会議のリモート化 ・臨時開催（休日・時間外）が必要な場合での運用 ・就業制限中（自宅待機中）での運用 <p>等により、感染予防策の徹底と感染拡大時の対応を試験的に積み重ね、緊急時の実践力を高めました。</p> <p>【法人外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議の開催 ・その他他機関との会議等での活用
LINE 活用による情報共有及び緊急対応の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援課課長・管理者グループによる時間外・休日での即応体制整備と運用

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援課感染対策委員会グループによる、感染案件発生時の情報・課題・方策の共有 <p>をリアルタイムの意思決定と対応を図りました。</p>
<p>リモートアクセスツールの導入</p>	<p>リモートアクセスツールの導入増により、在宅待機時でも介護保険システムや社内ネットワークに自宅よりアクセスし業務継続を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護委支援 1→2 ・デイサービス 0→1 <p>その他、居宅介護支援事業所については、全ケアマネジャーに携帯端末を提供し、相談や関係事業所との連絡調整を効率よく対応できる体制を整備しました。</p>

【昭和保育園拠点】（昭和保育園）

1. 事業の概要

1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	---

2. 保育実績

保育人数	0歳児 14名、1歳 16名、2歳児 21名 3歳児 23名、4歳児 25名、5歳児 25名 合計 124名
土曜日保育	延べ 1,439名 平均 28名/週

3. 年間行事

【園行事】

4月 5日	入園式	10月 24日	芋ほり
4月 28日	よもぎ摘み 5歳児	11月 14日	親子遠足（5歳児）
5月 20日	春の遠足	11月 30日	全体写真
6月 28日	交通安全教室	12月 17日	生活発表会
7月 6日	七夕会	12月 23日	冬のお楽しみ会
7月 12日	水遊び開始	1月 6日	新年のつどい
7月 29日	夏のお楽しみ会	3月 7日	入園説明会
8月 6日	お久しぶり1年生	3月 8日	お別れ散歩
8月 9日	へいわのつどい	3月 10日	交通安全教室
10月 1日	運動会	3月 15日	お別れ会
10月 21日	秋の遠足	3月 25日	卒園式

2. 運営体制の強化

1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 (7月23日)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度保育計画について 保育課程（年間計画・保健計画・食育計画） 施設環境整備推進について
第2回 (3月18日)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度運営状況報告について 令和5年度計画について

2. 健康管理の推進

内科健診	4月21日、10月20日
尿検査	4月21日
歯科検診	6月30日
5歳児健診	6月24日、11月22日
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	11月8日（5歳児）、2月28日（4歳児）

- ① 職員の健康診断
- ② 給食・調乳に係る職員の検便（月1回以上）
- ③ 防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

3. 施設環境整備の推進

環境整備のため 設置	<ul style="list-style-type: none"> ・丸洗いシューズボックス×2 ・3歳児用傘立て ・携帯電話 ・乳児用食べこぼしマット ・防災用品収納ベンチ ・災害用ロールすのこ ・高圧洗浄機 ・Bluetoothスピーカー ・避難時用シズボックス ・災害時用防災ロール畳
老朽化のため 改修	<ul style="list-style-type: none"> ・ぞうさん広場（乳児園庭）塗装工事 ・給食室厨房器具の入れ替え及び修繕 ・保護者用駐車場ライン塗装 ・ホールクロス張替え ・玄関スロープ修理 ・幼児用トイレ改修工事（便器及びトイレブース入れ替え） ・2歳児空調機器修理 ・テラスノンスリップ工事

4. 防災計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、名張警察署及び交通安全アドバイザー指導による交通安全教室を開催しました。

①避難訓練実施

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	不審者侵入
5月	火災（給食室より出火）	11月	火災（湯沸かし室より出火）
6月	地震想定	12月	火災（乳児室より出火）
7月	長時間保育時の火災	1月	地震
8月	風水害	2月	近隣住宅の火災
9月	地震	3月	総合訓練

②交通安全教室（指導）実施

6月 28日	交通安全教室実施
3月 10日	交通安全教室実施

5. 保護者との連携

保育 ICT を導入し、園児の出欠確認や登園後の体調不良の状況確認等、保護者との連携がスムーズに行えるようになりました。また、随時子どもの様子を配信し、日々の保育の見える化により、保育内容の共有と保育理解に繋がりました。

家庭推進保育士 2 名を配置し、家庭の状況を把握して一人一人の子どもの心身の状態を考慮した適切な家庭支援を行うことに努めました。また、保護者の気持ちに寄り添い、子育て相談に応じ保護者支援を行いました。

6. 地域・世代間交流

地域交流

- ① 地域の公園散歩（随時）鍛冶町公園、豊後町公園、朝日公園、平尾山カルチャーパーク、かぼちゃ公園など
- ② 城下川の花筏見物
- ③ 寿栄神社境内散歩（随時）
- ④ 宇流富志禰神社（随時）
- ⑤ 名張地区まちづくり推進協議会さんとの交流（竹行灯づくり、エコロード散策）
- ⑥ 愛宕神社おみこし見物
- ⑦ やなせ宿絵画展示（5 歳児）

世代間交流

- ① 小、中、高校生とのふれあい活動 感染症対応により中止
- ② 職場体験（名張中、赤目中、南中）感染症対策により中止
- ③ ふれあいデーサービスの利用者の方との交流
 - ・入園式、卒園式、運動会等行事用装飾の共同制作
 - ・利用者さんによる手作り玩具の提供（人形の服、ままごと用かばん、あやとり紐等）
 - ・ふれあいホールにて歌や合奏の発表交流（5 歳児）
 - ・子どもの絵画の展示

7. 読書活動の推進

子どもの興味や発達に応じた絵本を購入し、お話を月一回開催しました。

また、絵本の紹介や子どもの読書の様子を伝える「えほんのとびら」を発行し、保護者への読書啓発に繋がりました。

3. 特別保育事業

1. 延長保育事業の推進

- ①延長保育の利用実績（平日 18：15～19：15）

4 月	108 名	10 月	84 名
5 月	87 名	11 月	85 名
6 月	118 名	12 月	85 名
7 月	73 名	1 月	70 名
8 月	77 名	2 月	63 名
9 月	81 名	3 月	87 名

一か月平均 85名 年間延べ利用人数 1,018名

②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

2. 個別乳幼児特別支援事業の推進

個別支援計画を立て、発達支援センター等関係機関と連携し、障害児保育を行いました。また、5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

3. 一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ169名預かりました。

	利用児童数						
	半日			一日			計
	① 勤務 形態等	② 緊急 一時的	③ 私的 理由等	① 勤務 形態等	② 緊急 形態等	③ 私的 理由等	
合計	1	2	20	21	12	113	169

4. マイ保育ステーションの取組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。また、乳幼児の発達を踏まえ、親子が安心して過ごせる遊び場を提供しました。

1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	128名	未就園児、妊婦さんの登録者
利用人数	延べ1,438名	0歳児とその親の利用が全体の半数を占め、全て3歳未満児です。妊婦は延べ27名利用されました
一時預かり無料体験	27名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育をしました

2. 毎月の行事内容

行事	内容
作って遊ぼう	ステーションの保育士と一緒に制作遊びをしました
ステーションで遊ぼう	親子で楽しめる体験や季節の手遊びなどを紹介しました
絵本大好き	ステーションの保育士が絵本やパネルシアターでお話をしました
誕生日会	お誕生日カードをプレゼントして、誕生日会をしました
身体計測	乳幼児用計測器を使って看護師が身体計測をしました
その他	毎日園庭を開放し保育園の遊具や玩具を使って遊びました

5. 保育の質の向上と人材育成

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じ保育リーダー（乳児・幼児・発達支援・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理）となりキャリアアップに繋がりました。

①研修内容

園内研修	<ul style="list-style-type: none"> ・人権保育 ・障害児保育 ・公開保育 ・乳児保育 ・幼児保育
園外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・な同会（なばりの同和保育を考える会）・絵本 ・障害児保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・食育 ・発達支援 ・保健 ・公開保育 ・わらべうた ・保育実践 ・地域子育て ・保護者支援

②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	5名	奈良佐保短期大学、皇學館大學 白鳳短期大学、四天王寺短期大学
インターンシップ	1名	あけぼの学園高等学校

Ⅳ 【総合福祉センターふれあい拠点】（総務課・地域福祉課）

1. 総合福祉センター指定管理事業

1. 施設の維持管理

①施設、設備の保守点検・修繕等による安全管理の徹底

ア. 施設の管理状況

総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、福祉関係団体や市民のみなさまが安心、安全に集う場として活用されるよう、施設及び設備の保守点検・修繕等を実施しました。大規模改修としては、名張市において正面玄関自動ドア及び受変電設備の更新を実施しました。

また、総合福祉センターふれあいは、築27年が経過し、施設、設備の老朽化が顕著となっていることから、設備更新や大規模修繕を確実に実施していくため、バコティンヒーター、スプリンクラーポンプ等の消防設備、浴室ろ過ポンプ等の改修に向けて名張市へ要請を行いました。

主 な 管 理 項 目	費 用
警備業務委託	554,400円
自家用電気工作物保安管理業務委託	435,600円
昇降機保守点検業務委託	1,211,100円
駐車場管制装置保守点検業務委託	462,000円
構内交換電話設備保守業務委託	154,000円
清掃業務委託	3,098,172円
設備保守管理業務委託	8,791,200円
管理運営にかかる休日及び時間外業務委託	1,648,752円
敷地内高木伐採作業委託及び法面草刈業務委託	271,526円
その他	143,440円
管理に要した費用合計	16,770,190円

イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、名張市と協議しながら、順次、修繕を行いました。

主な修繕箇所	駐車場外灯取替修繕、バコティンヒーター整備修繕、3階避難口誘導灯取替修繕、GHP-101排気マフラー部修繕、冷温水発生機給水管漏水修繕、トイレ用コンセントタイマー修繕工事、ベランダ軒天上修繕工事、駐輪場コンクリートスロープ工事、3階エレベーターホールLEDベースライト取替工事、101・102会議室LEDベースライト更新工事、廊下LEDベースライト更新工事
修繕に要した費用	2,145,900円

②施設利用状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら、ふれあいホール及び会議室の利用を促進しました。それにより、前年度より利用件数及び参加費収入等が増となりました。

ア. 台風による貸館休止、臨時開館

台風による貸館休止	9月19日(月・祝) 敬老の日
臨時開館	11月23日(水・祝) ふれあいフェスティバル開催

イ. 会議室・ホール利用件数： 2, 159件 (前年比100件増)

ウ. 利用料・参加費収入

令和4年4月よりコピー・印刷代については料金改定を行いました。

内 訳	金 額
会議室・ホール	2, 058, 420円
駐車場	126, 950円
コピー・印刷代	203, 702円
卓球台	136, 260円
合 計	2, 525, 332円

③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

総合福祉センター内各事業所職員による美化活動として、年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃きを行い、地域の浚渫にも参加しました。

④新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の実施

昨年度に引き続き利用者へ感染対策への取組みを呼びかけるとともに、各階のトイレへ手指消毒スタンド及びペーパータオルを設置し共用部分の感染防止を強化しました。

2. 施設利用者の拡大

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口対応により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

3. 防災対策

新型コロナウイルス感染予防に努めながら、消防訓練や垂直避難オリエンテーションを実施しました。

① 防火管理委員会の開催

第1回	8月18日(木)	第2回	2月20日(月)
-----	----------	-----	----------

② 消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

南海トラフを震源とした大地震発生を想定し、各事業所職員を対象に消防・避難訓練を実施しました。

実施日時	9月16日(金) 13:30~15:00 18:00~20:00
訓練内容	第一部では、自衛消防本部隊の任務について知識を深め、各事業所の職員が自身の役割を再認識しました。 第二部では、要配慮者利用施設に計画や訓練が義務化された経緯や、総合福祉センターが被災した場合の留意点をグループワークで確認しました。

実施日時	3月14日(火) 13:30~15:00
訓練内容	大規模地震が発生したと仮定し、名張市総合福祉センター内職員に避難、誘導等の諸活動を習熟させる目的で訓練を実施しました。 ・通報・連絡訓練 ・消火訓練(放水訓練)

